

衆議院解散に対するコメント

神戸商工会議所
会頭 家次 恒

任期満了を間近に控える中、解散が表明され、総選挙へ進むことになったが、新内閣は発足早々その政策について、また各党はそれぞれの公約について国民に信を問うことになる。

文字通り内憂外患の状況にある今、総選挙では、外交・安全保障や社会保障改革、人口減少対策など大局観をもった国家戦略はもとより、国民や事業者が直面する課題、特に「コロナ対策」と「成長と分配」の具体論について実質的な政策論戦が行われることを期待する。

その中で、強く求められるのは実効性ある経済政策パッケージの提示である。国際社会に劣後することのないよう、ウイズコロナにおける出口戦略、道半ばにある成長戦略の実行に向けて具体的な道筋や手順がしっかりと示されることを望む。

加えて、選挙中・選挙後を通じて国政停滞の影響を最小限に留めるべく、感染防止と経済活動の両立を重視した、着実な政策対応を求めたい。

令和三年十月十四日